

令和3年度 第4回全国健康保険協会静岡支部評議会議事録

開催日時：令和4年1月17日（月） 13：30～14：45

開催形態：オンライン開催（Zoomを活用）

出席者：足立評議員、永嶋評議員、藤本評議員、森下評議員、森藤評議員、
山田評議員、山本評議員（五十音順）

議 事：1. 令和4年度保険料率について
2. 令和4年度静岡支部事業計画について
（令和4年度静岡支部保険者機能強化予算について）

○議事の経過

1. 令和4年度保険料率について

資料1-1及び資料1-2に基づき、事務局より説明。

〈評議員〉

介護保険料率が下がった要因についてもう一度説明をお願いしたい。

（事務局）

介護納付金は高齢化の影響により増加傾向であるが、令和2年度の概算額と実際に支出した額に差額があり精算分として戻り額が発生した点、及び令和3年度の余剰分が見込まれる点により令和4年度介護保険料率は下がる試算です。

〈評議員〉

コロナ禍においても保険者としての努力が見られるので、保険料率については妥当と捉えている。

〈議長〉

令和4年度保険料率については、承認ということによろしいか。

〈評議員一同〉

異議なし。

2. 令和4年度静岡支部事業計画について

(令和4年度静岡支部保険者機能強化予算について)

資料2及び資料3に基づき、事務局より説明。

〈評議員〉

新型コロナウイルスが年末にかけ落ち着いていた一方、年明けから再び急増し始めた。この新型コロナウイルスに左右される中で大変ご苦労されていることと思うが、K P Iの数値は高い目標を維持されている。目標値を立てることは重要ではあるが、仮に数値が目標値に届かなくても新型コロナウイルスの影響下では致し方ない面もあると思っており、目標達成できなかったからといって実りがなかったとは捉えなくてよいと考える。

〈評議員〉

コラボヘルス推進におけるメンタルヘルス予防対策について計画されているが、具体的にはどのような施策を検討中か伺いたい。

(事務局)

この点についてはまだ連携先も含めて模索中です。これまでも静岡県精神保健福祉センター等と連携し、職場におけるメンタルヘルスの教育面としてラインケア等の教育は実施してきましたが、これは健康保険委員の活動における事務担当者向けの研修にとどまっていました。

本部でも積極的に健康経営の中に組み込むような取り組みをしていきたいと考え模索をしており、静岡支部としても、専門職から事業所へ介入することが重要だと考える一方、産業保健総合支援センターは直接専門職を雇用しているわけではなく、これまで事業としてはなかなか機能してこなかったため、今後このあたりについて連携先や専門職との契約方法等を検討していきたいと考えています。

〈評議員〉

事業計画においては保健事業が重要になってくると思うが、K P Iの数値は伸び悩みも感じられる。この点について、いかに目標に近づけていくつもりか。

(事務局)

K P Iとの乖離については職員も感じているところではありますが、元々本部から2023年度の数値到達に向けて段階的に設定されていることが大きく、特に前年度に達成できていなくてもK P Iの見直しが認められていないことなどから、実際の数値とは大きな差が生じています。

しかし、実績を少しでもK P Iに近づけるために努力も続けています。例えば、

健康課題の多い運輸業界の関係団体へ出向いて健診や保健指導の受診案内を実施したほか、被扶養者向けにはスマートフォンアプリのLINEを用いて特定健診のお知らせ等を届ける工夫などを行っております。LINEは年間300人程度の登録を見込んでいたところ、1000人以上の登録があり、非常に好評を得ています。これらの新たな取組みも踏まえて、少しでもKPIに近づけるよう今後も努力していく所存です。

〈評議員〉

新型コロナウイルスによる特殊事情により健診の受診率を上げていくのはなかなか難しいところだと思うが、実績が他支部と比べて大きな差がなければまずまずではないかと思う。

〈議長〉

令和4年度静岡支部事業計画及び令和4年度静岡支部保険者機能強化予算については、承認ということによろしいか。

〈評議員一同〉

異議なし